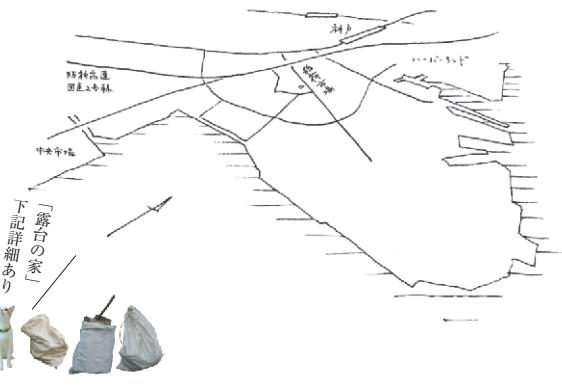


# まちのレシピ その⑤

まちをつくるには建築だけではありません。コミュニケーションも大切な要素のひとつ。今回は、チカちゃんハウスの「つけあわせ」となる2階工事の様子をご紹介しましょう。

文・写真=赤松麻衣 もしもし広報担当

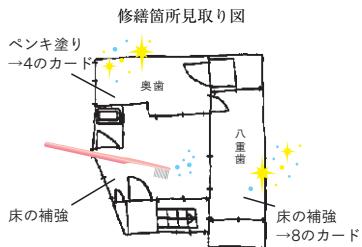


## 1 今回の課題

つけあわせ  
のつくり方

住みコミ物件04「露台の家」

## 2 二階の磨き箇所



2階の各部屋には作業中の呼び名として、それぞれに名前が付けられました。階段を上がって、奥から「奥歯」手前が「前歯」その横の部屋が「八重歯」です。

## 3 作業開始

まずは壁の補強から。「奥歯」の化粧板を剥がすと、中にある土壁が崩れていきました。モルタルで土壁を補強し、もう一度化粧板を張ります。補強後は壁面のバテ埋めです。小さな穴や隙間にバテを手作業で埋めていきます。画鋲の跡、ダーツの矢が刺さった跡、穴を見るだけで住まいだった頃の風景が浮かんできました。

バテを1日ねかし、次はペンキ塗り。養生をし、「さあ、やるぞ！」と思っても、バテがまだ乾いていなかつたり養生の忘れ箇所があったりと、始めるまで何日もかかりました。

## 4 奥歯の治療



やっとの思いでペンキ塗りに到達。ペンキは白。むらのないようにローラーで何度も塗りました。養生をきれいに剥がすと、奥歯は真っ白に磨かれていきました。

## 5 ふくらむ想像



作業を進めていくと、住まいだった頃の痕跡がたくさん出てきました。これは壁紙の下に隠れていたシールたちです。小さな子がいたのかな。男の子？女の方？

## 6 今月の逸材



後輩の井上優花さんと藤堂恵介さん。井上さんはまちの雰囲気が大好きで、よくここに散歩に来ています。ふたりは2階の工事で大活躍してくれました。

## 7 新しい床

「奥歯」が完成し、次は「前歯」を磨きます。同じ工程で進め、「前歯」と「八重歯」は同時にペンキ塗りをしました。

「八重歯」は地震で床が歪んでいたので、その上に新しく床をつくることにしました。水平な床をつくろうとすると、歪んだ床との間に斜めの隙間ができてしまします。そこに楔を入れて土台を組みました。その上にコンパネを敷き、仕上げにオイルステンを塗りました。

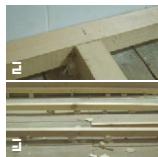
床の角にモールを付け、これで全ての部屋が真っ白に磨かれました。

## 8 平らな床のレシピ

### 作り方



ホースと水で水平を計り  
水引糸を釘にまきつける



壁に垂木を打ち直角に木  
を組み隙間に楔をいれる



垂木で20cm上げ、床面  
にコンパネを張り付ける



オイルステンを塗って、  
モールを付けたら完成

### 準備するもの

{コンパネ／5枚、垂木／3.5×3.5cm、ホース／5m、水／500ml、水引糸／適量、かんな／1つ、ノミ／2つ、釘／適量、  
さしがね／適宜、赤鉛筆／1本、オイルステン／ウォルナット色}

次回は、電気・ガス・水道工事の様子を紹介します。